



健康一口メモ

仙台市医師会
広報委員
草刈 千賀志

バリアフリーと聞いて何を思い浮かべますか？階段横のスロープやエレベーター、広いトイレ、点字ブロックなど、いろいろなものがあります。では、聞こえが不自由な方のための配慮は整っているでしょうか？国では法律を整備して、さまざまな人々が年齢や性別、障害の有無に関係なく、分け隔てなく暮らせる社会、「共生社会」の実現を推進しています。聴力は50代から確実に低下して、65〜74歳では3人に1人、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいます。高齢化社会は難聴者社会です。そのため、難聴者と共生できる社会が求められています。

聞こえのバリアフリーを実現するためには二つのアプローチがあります。一つは難聴の早期発見、早期自覚、治療、介入です。難聴は周りの人から分かりにくく、自分自身も難聴に気付くのが遅れがちです。また、難聴と向き合うことを避ける心理もあります。健診等で早めに把握して、治療できるものは治療し、必要に応じて早期の補聴器使用も重要です。補聴器を誰でも気軽に使えるための公的補助の整備も必要です。

聞こえのバリアフリー



〔草刈耳鼻科／宮城野区原町〕

高年齢社会が確実に進む中、誰もが不自由なく生活するために、みなさまの事業所に聞こえのバリアフリーがないか、もう一度よく見直してみてください。

の仕組みや私たちの態度です。まずは普段の話し方。加齢性の難聴は単に音が小さく聞こえるだけでなく、音声にゆがみが生じ不明瞭になります。大きな強い音声はかえってよく聞き取れません。お話しするときはマスクを外して顔を見ながら、ゆっくりはっきり静かな声で話す方がよく聞こえます。また、社会の設備にも注意が必要です。駅や車内のアナウンス、エレベーターの重量オーバーアラーム、ATMの緊急連絡電話など、社会は難聴者にとってのバリアーであふれています。そのため、なるべく文字や絵の情報を交えることが大切です。最近ではIT技術を使った、話し声を明瞭にする機器もありますので活用するのも良いでしょう。

機械・器具・設備・車輛の総合リース

機械・器具・設備のリース
事務用機器 情報関連機器
産業・工作機械 土木建設機械
輸送用機器 医療機器
商業・サービス業用機械設備

自動車（業務用）リース

七十七リース株式会社

本社 仙台市青葉区本町二丁目15番1号 ☎(022)262-4341(代) 石巻営業所 石巻市立町一丁目4番15号 ☎(0225)94-0810
古川営業所 大崎市古川駅前大通二丁目4番26号 ☎(0229)23-0037 ホームページアドレス <http://www.77lease.co.jp>